

平成 23 年度森林総合研究所北海道支所研究評議会

開催場所：森林総合研究所北海道支所 大会議室

開催日時：平成24年3月1日（木）14：00～16：30

評議会委員：平野 均一郎 委員（北海道森林管理局計画部長）

佐藤 冬樹 委員（北海道大学北方生物圏フィールド科学センター教授）

安齋 保 委員（下川町長）

北海道支所出席者：支所長、産学官連携推進調整監、地域研究監、研究グループ長（5）
研究チーム長（3）、庶務課長、連絡調整室長、研究情報専門職

北海道育種場出席者：場長、育種課長、遺伝資源管理課長

開会の挨拶に続き北海道支所から、主な活動報告として 1) 組織機構、2) 研究予算、3) 研究推進、4) 広報活動、5) 地域連携について説明を行った。続いて、主要研究取組状況報告として「緩中傾斜地における低コスト生産システムの開発」（交付金プロ）の概要ならびに今年度成果について担当者が発表、説明した。質疑応答につづいて、昨年の指摘事項と対応方針について説明した。この後、北海道育種場から組織、業務内容の概要説明と平成 23 年度のトピック等についての説明が行われた。これらの説明のあと評議会委員から以下のような意見やアドバイスが出された。

- ・数々の有益な成果、実用的な成果を出してもらっていると感じた。これらはもっと広く道民に知らしめるべきであろう。また一般人の興味を引く成果は積極的に公開することが大切。ホームページはこまめに更新した方がよい。

- ・林業として成り立つためのより実用的な研究成果に期待したい。とくにコンテナ苗技術、更新阻害要因としてのササ対策技術に力を入れて欲しい。

- ・大学と異なり、林業への応用という点で現場にフィードバックできる、地に足を付けた長期的な視点で行う研究に期待したい。北海道という地域特性に応じた独自の研究成果を期待する。

支所からはこれらのご意見に対して現状や今後の取組方針等の説明を行った。